

妊婦歯科健診は受診されましたか？

妊婦歯科健診を無料で受診できる期間は妊娠中の間だけです。赤ちゃんがすくすくとお腹の中で大きくなるように、生まれてくる元気な赤ちゃん、そしてお母さん自身のためにも一度ご自身のお口の健康について考えてみましょう。



妊婦氏名		年度発行番号	
姓	名		
生年月日	住所	欄原市	町
年 月 日	生	TEL ()	
歯科健診受診時の妊娠週数			
道			
実施機関記入欄			
実施年月日	年	月	日
実施機関の名称	〒 TEL		
実施機関の住所	〒 TEL		
実施機関のTEL	〒 TEL		
実施機関の名称	〒 TEL		

妊婦健康診査補助券綴りの1枚目の青いチケットを使って無料で受診できます！

📖 妊娠すると何が変わる？ 📖

妊娠するとホルモンバランスが変わり、歯周病菌が増えやすくなります。さらに、つわりで食事のリズムが不規則になったり、歯みがきができなくなったり…と口の中の状況が妊娠前と大きく変わり、歯茎に炎症が起こりやすくなります。そのため、むし歯や歯周病にかかりやすくなります。

欄原市では、妊婦歯科健診を受けた人のうち9割近くの方が、要指導・要精密検査となっています。

📖 妊婦と歯周病の関係 📖

妊婦が歯周病になっている場合、早産(妊娠22~36週の間)に通常より早く出産すること)および低出生体重児(生まれた時の体重が2500g未満の赤ちゃん)の危険度が高くなることが指摘されています。その危険率は実に7倍にもものぼるといわれ、タバコやアルコール、高齢出産などよりもはるかに高い数字になります。(日本臨床歯周病学会ホームページ参照)

📖 早産になると何がいけないの？ 📖

早産になると低出生体重児になる場合が多く、出産週数が早ければ早いほど赤ちゃんの体の機能などが未熟なまま生まれてしまいます。



📖 歯周病予防のために今できることは？ 📖

今のご自身の口の中の状況を知るために、まずは妊婦歯科健診を受診しましょう！そして、むし歯や歯周病と言われた場合は、歯科医師と相談して、必要であれば治療を受けましょう！むし歯や歯周病の予防や治療は、生まれてくる赤ちゃんの健康のためにも大切です。健診の結果、問題がなかった方も、時間をかけてしっかり歯みがきをする習慣をつけましょう！



産後は忙しく、歯医者さんにもなかなか行けなくなる人も多いので、今のうちに妊婦歯科健診をしっかり受診しておきましょう！



妊婦歯科健診
実施医療機関一覧